Nissin DIGITAL

i40

ソニー製デジタルカメラ用
（マルチインターフェイスシュー）

取扱説明書
INSTRUCTION MANUAL

ニッシン製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。
また、カメラの操作・機能に関しましては、ご使用になるカメラの取扱説明書をご参照ください。

ニッシンi40は、デジタル一眼レフカメラの最新のデジタルTTL方式に対応するストロボです。
本機は、ソニー製デジタルカメラ（マルチインターフェイスシュー）に取り付けてご使用ください。

i40の特徴

i40は、設定が素早く行えるセレクトダイヤルを採用しているのが特徴です。

過熱防止機能の搭載

パイロットランプが赤点滅を始めたら、オーバーヒートにより過熱防止機能が働いていることを示しています。パイロットランプが緑に変わったら、発光可能になります。

保証書

本書は、本書規定により無償修理させていただくことをお約束するものです。万が一、保証期間中に故障などが生じた場合に、本保証書と、ご購入店の領収書または、レシートなどご購入日を証するものを添付して、ご購入店かまたは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

機種名		i40
製造番号		
お客様	お名前	様
	ご住所	〒
	電話番号	
お買上げ日		保証期間
年　月　日		お買上げ日より1年
販売店名		

保証規定

1. 保証書の有効期限は、お買い上げ日より1年間といたします。
2. 保証期間内の修理は、無償といたします。
3. 保証期間経過後は、有償修理となります。
4. 保証期間内でも、次の場合には有償修理となります。
   イ）使用説明書の内容に従った正常な使用を行わなかったことにより故障が生じた場合。
   ロ）お買い上げの販売店の捺印や記入がなかったり、あるいは字句が書き換えられたりした場合。
   ハ）保証書を紛失した場合や、ご提示がなかった場合。
   ニ）不当な修理や改造をされた場合または、純正部品以外の使用で故障が生じた場合。
   ホ）火災、地震、水害、公害その他の特殊な外的要因により故障・損傷が生じた場合。
   ヘ）保管上の不備や、手入れの不備によって故障が生じた場合。
   ト）激しい使用による消耗・損傷が認められた場合。
5. レンタル、リースについては、保証適用の対象外となります。
6. 本書は、日本国内においてのみ有効となります。
7. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
8. 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得られる利益の喪失など）については、保証いたしかねます。

【アフターサービスについて】
アフターサービスの可能期間は、製造中止後5年を目安とします。

ニッシンジャパン株式会社
〒166-0002　東京都杉並区高円寺北1丁目17番5号 上野ビル2F
TEL. 050-3736-7756

NISSINは、ニッシンジャパン株式会社の登録商標です。
その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

対応カメラ

最新の対応カメラ一覧表は、
http://www.nissin-japan.comでご確認できます。

安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電したり、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。

⚠警告

- 本機は高電圧の部品を使用していますので、絶対に分解しないでください。修理の場合は、弊社サービスステーションかまたは、ご購入されたお店にお持ちください。
- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- 人の目の前（特に乳幼児）に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力傷害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
- コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入ったりした場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- 本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。

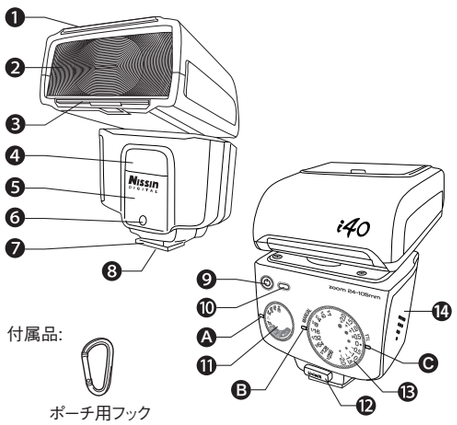
⚠注意

- 電池を高熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。

⚠その他の注意

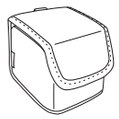
- ベンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本機を長期間使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。

各部名称



付属品:

ポーチ用フック


ポーチ

ミニスタンド

ディフューザー

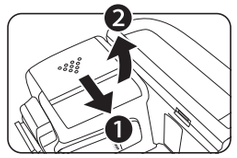
❶ キャッチライトパネル
❷ 発光部
❸ ワイドパネル
❹ ビデオライト
❺ ワイヤレスセンサー
❻ オートフォーカス補助光
❼ 取付足
❽ シュー接点ピン
❾ 電源オン／オフボタン
❿ パイロットランプ（テスト発光ボタン）／ハイスピードシンクロモード切換ボタン）
⓫ モードダイヤル
⓬ シューロック／ロック解除ボタン
⓭ パワー調整ダイヤル
⓮ 電池カバー
Ⓐ モード表示ランプ
Ⓑ 発光量表示ランプ
Ⓒ 調光補正値表示ランプ

基本操作

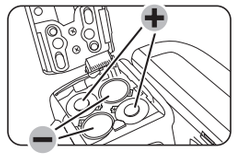
電池の挿入

使用できる電池： ニッケル水素電池（エネループ）、アルカリ乾電池

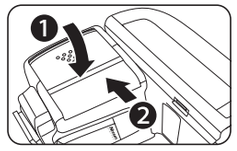
1. 電池カバーを図の①、②の順番に開きます。



2. 単３形電池４本の＋、－の向きを、表示に合わせて正しく挿入します。



3. 電池カバーを閉める時は、①カバーを押しながら、②スライドさせてください。



ストロボのチャージ時間が30秒以上かかるようになった場合は新しい乾電池かまたは充電済みの充電池に交換してください。

❶注意

電池は、同じブランドで同じタイプの新しい電池を使用してください。同時に交換することをお勧めします。また、充電池の場合は、4本とも同時に充電した電池を使用してください。

省電力モード

本機は、電池の消耗を防ぐために、省電力モードを備えています。

A、TTL、Mモードの時はアイドル状態から２分後に、SD、SF、ワイヤレスTTLリモートモードの時はアイドル状態から５分後にスタンバイモードに入ります。
スタンバイモードの時は、パイロットランプが２秒毎に点滅します。
本機を復帰させるには、カメラのシャッターボタンを半押しするかまたは、本機のどれかのボタンを押してください。
本機の操作を60分間行わなかった場合は電源OFFになります。この場合は、再度電源を入れなおしてください。

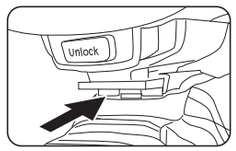
過熱防止機能

i40は大光量の発光を20～30回連続した場合に、回路を保護するために自動的に電源OFFします。過熱防止機能が作動している間、パイロットランプは1.5秒毎に赤点滅します。過熱防止機能は約15分後に自動的に解除され、再び使用できるようになります。

カメラに装着する

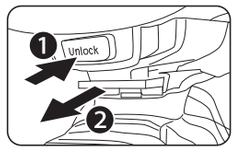
1. i40の取付足をカメラのホットシューに挿入します。

2. ロックピンにより固定されるまで、しっかり奥まで差してください。



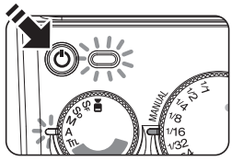
カメラから取り外す

1. ①［Unlock］（ロック解除ボタン）を押しながら、②ホットシューから引き抜きます。



電源を入れる

- 「オン / オフボタン」を押すと電源が入り、パイロットランプが赤色に点灯しチャージを開始します。
- モード表示ランプが点灯します。

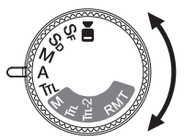


- パイロットランプが緑色に変わるとチャージ完了です。
- テスト発光を行う場合はパイロットランプを押してください。
- 電源を手動で切る場合は、「オン / オフボタン」を１秒間押してください。

モードダイヤル

i40の各モードと機能

ダイヤルを回してモードを選んでください。



ビデオライトモード
動画撮影時に使用します。発光量を９段階調節できます。

SF アナログ（フィルム）スレーブモード
単発発光用スレーブ（従来型）。

SD デジタルスレーブモード
プリ発光キャンセル機能付きスレーブ（TTL対応型）。

M マニュアルモード
発光量を手動でセットします。

A フルオートモード
カメラに取り付けて撮るだけで自動的に光量を調整します。

TTL TTLモード
自動的に光量を調整します。調光補正により微調節が出来ます。

M / TTL / TTL2 / RMT RMTモード
本機をM/TTL/TTL2グループに割り当て、ワイヤレスTTLマスター機能により制御できます。
（チャンネルは共通）

［参考］ ストロボ照射角について

照射角は便宜上35mmフィルム用レンズの焦点距離を基準にしています。

A フルオートモード

本機をAモードにセットした時、下記のカメラモードでTTL自動調光システムが連動します。
フルオートモードは、ほとんどの操作をカメラ側で行うことができる、初心者向けのモードです。

SONYカメラの撮影モード

カメラの撮影モードが［ i📷 ］、［P］、［A］、［S］、［M］の時に、TTL自動調光を行うことができます。

上記に記載したすべての撮影モードにおいて、TTL調光を行うことができます。

- モードダイヤルを回してAモードを選びます。
- シャッターボタンを半押しして、被写体に焦点を合わせます。
- カメラのビューファインダーにシャッター速度、絞り、フラッシュマークが表示されます。
- シャッターボタンを押して撮影します。本機が発光し、カメラの液晶画面に撮影画像が表示されます。
- レンズ焦点距離を変えると、本機の発光ヘッド内のユニットが自動で移動し、その焦点距離を効率よくカバーします。24mm～105mm以上をカバー。

TTL TTLモード

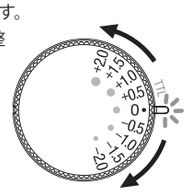
TTLモードでは自動で最適な露出を得ることができますが、任意で調光補正機能を使った微調整を行うことも出来ます。本機は、モードダイヤルにより素早く確実な調光補正が行えますので、とても便利です。

SONYカメラの撮影モード

カメラの撮影モードが［ i📷 ］、［P］、［A］、［S］、［M］の時に、TTL自動調光を行うことができます。

- モードダイヤルを回してTTLモードを選びます。
- 調光補正値表示ランプが点灯します。
- 調光補正を行う場合はパワー調整ダイヤルを回します。
- 時計回りに回すと＋EV補正になります。反時計回りに回すとーEV補正になります。
- 補正値は-2.0EV～+2.0EVまで0.5EV刻みで調節出来ます。
- シャッターボタンを半押しして、被写体に焦点を合わせます。
- カメラのビューファインダーにシャッター速度、絞り、フラッシュマークが表示されます。
- カメラによっては、カメラ側から調光補正を行うことができます。（詳しくはカメラの取扱説明書を御覧ください。）また、ストロボ、カメラ、両方の調光補正がセットされている場合は、両方の補正値が合算されます。

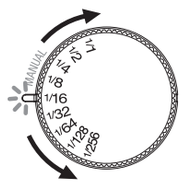
※カメラ側の調光補正値は反映されません。



M マニュアルモード

マニュアルモードでは、発光量を手動で調節することができます。発光量は、1/1から1/256まで1.0EV刻みで9段階の調節を行うことができます。

- モードダイヤルを回してMモードを選びます。
- 発光量表示ランプが点灯します。
- パワー調整ダイヤルを回し発光量をセットします。発光量は1/1から1/256まで1EVごとに調節できます。
- シャッターボタンを押して撮影します。本機が発光し、カメラの液晶画面に撮影画像が表示されます。
- 撮影画像の露出を確認し、最適な露出が得られない場合は、発光量を調節します。



SD SF RMT ワイヤレスモード

i40は、ワイヤレス同調を行うことが出来ます。この機能は、マルチライティングによるクリエイティブなストロボ撮影を可能にします。

SD：**デジタルスレーブ**
デジタル一眼レフカメラのプリ発光を伴ったTTL調光システムにワイヤレス同調します。発光レベルは9段階あります。

SF：**アナログスレーブ**
フィルム一眼レフカメラや、スタジオストロボなど単発発光のストロボに同調します。発光レベルは9段階あります。

RMT：**ワイヤレスTTLリモート**
ワイヤレスTTLのリモートストロボとして同調し、TTL発光を行います。マスターストロボのワイヤレスTTLモードを、M、TTL、TTL2グループのいずれかにセットします。（チャンネルは共通）

マスターストロボの設定

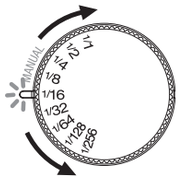
マスターストロボをカメラに装着し、電源を入れます。内蔵ストロボの場合は、ポップアップして、発光可能な状態にします。

各ワイヤレス機能の設定

ワイヤレス機能使用時は、付属の三脚ネジ穴付きミニスタンドをご利用ください。

SD／SFモード

- マスターストロボが TTL の時は **SD** に、マニュアルの時は **SF** にセットします。
- モードボタンを回して、**SD** モードまたは **SF** モードを選びます。
- 光量表示ランプが点灯します。
- パワー調整ダイヤルを回し発光量をセットします。発光量は 1/1 から 1/256 まで 1EV ごとに調節できます。



- シャッターボタンを押して撮影します。本機が発光し、カメラの液晶画面に撮影画像が表示されます。
- 撮影画像の露出を確認し、最適な露出が得られない場合は、発光量を調節します。

RMTモード

- モードダイヤルを回して「**RMT**」モードの **M** または **TTL** または **TTL2** を選びます。
- チャンネルは共通です。マスター側のグループ設定で同じグループを選び、モード、設定値などをセットして、コントロールしてください。

マスターストロボとして使用できるもの

- マスター機能付き純正ストロボ
- マスター（コマンダー）機能付き内蔵ストロボ

❗注意

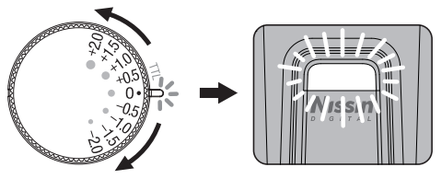
ワイヤレスモード（SF、SD、RMT）設定時は、オートズームは35mmに固定されます。また、マニュアルモードの設定も可能です。

【重要】

金属製のアクセサリーシューに本機を取り付ける場合は、接点がショートしないようにご注意ください。

ビデオライト

- モードダイヤルを回し、「🎥」を選びます。
- 調光補正値表示ランプが青色に点灯します。
- パワー調整ダイヤルを回し、発光レベルを選んでください。



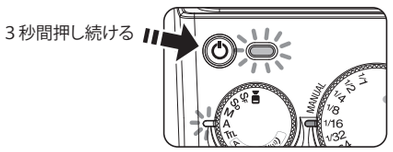
❗注意

ビデオライトは、フル充電の電池で約3.5時間連続点灯します。

マニュアルズームでの使用方法

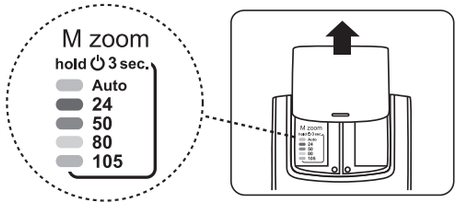
- M、SD、SF、「RMT」の時、マニュアルズームの設定ができます。
- マニュアルズーム機能を作動させるには、電源オンの状態でオン / オフボタンを３秒間押し続けます。

３秒間押すと緑から青［24mm］に、そのまま押し続けるとピンク［50mm］、水色［80mm］、オレンジ［105mm］、そして最初に戻り緑（オート）となり、循環していきます。ポジションを選ぶときは電源ボタンから指を離してください。



※数値は35mmフォーマットで表示されています。

※キャッチライトパネルを引き上げると、パイロットランプの色と一致する照射角の表が掲載されておりますので、ご参照お願いします。



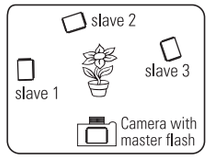
緑 ---------- オート
青 ---------- 24mm
ピンク ---------- 50mm
水色 ---------- 80mm
オレンジ ---------- 105mm

❗注意

マニュアルズーム設定は、電源を切っても保持されますが、モードをA、TTLにセットすると解除されます。

スレーブ撮影方法

- カメラの内蔵ストロボまたは、接続されている外付けストロボ（マスターストロボ）を発光可能な状態にします。
- スレーブストロボ（i40）を任意の場所に設置します。
- マスターストロボのテスト発光を行い、スレーブストロボの同調を確認します。
- スレーブストロボが同調すれば、撮影可能になります。

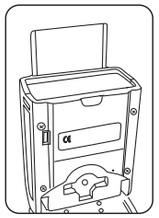


※被写体の周辺に設置できるストロボの数に制限はありません。
※スレーブ時オートパワーオフ機能により60分後に電源オフになります。
※スレーブ時はスタンバイモードには切り替わりません。
※スレーブ時は、照射角は35mmに固定されます。
※i40の設置場所によっては、スレーブ同調しない場合があります。
※金属製のアクセサリーシューにi40を取り付けると発光しない場合がありますので、ご注意ください。

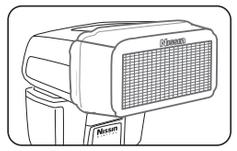
キャッチライトパネル

バウンス撮影時、近距離でキャッチライトパネルを使用すると、被写体の人物の目に光が差し込み、表情が明るくなります。

- キャッチライトパネル使用時は、上方90°にバウンスさせてください。

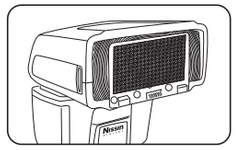


※キャッチライトパネルは、ディフューズボックスを取り付けたまま使用できます。



ワイドパネル

- 内蔵のワイドパネルを引き出して、図のように発光部の前に被せると、16mmの撮影画角に対応できます。



❗注意

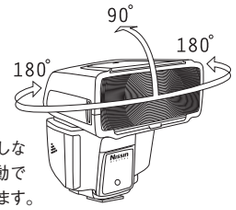
バウンス使用時には、ワイドパネルを収納してください。

［参考］

ワイドパネルは光を拡散させる効果もありますので、ストロボ光をソフトにしたいときなどにもご利用できます。

バウンス

主に屋内で、天井や壁などにストロボ光を反射させてバウンス撮影を行うと、被写体の不自然な影を和らげ、自然な感じになります。



- ヘッド回転ロックボタンを押しながら、フラッシュヘッドを手動で上下左右方向に向きを変えます。
- ヘッドは、上方に 90°、左に 180°、右に 180°回転します。

❗注意

- バウンス時は、照射角 50mm に固定されます。
- 天井、壁までの距離が離れているときは、ストロボ光が十分に反射せず、効果を得られない場合があります。
- 天井や、壁の色が白でない場合は、反射光が影響を受けて着色する場合があります。
- バウンス時は、光の減衰が大きいので効果が十分得られない場合は、カメラの ISO 感度を上げて撮影を行ってください。

オートフォーカス補助光

低コントラストの被写体や、暗所で撮影を行う場合、オートフォーカス補助光を被写体に自動的に照射し、合焦しやすくします。
照射された赤色光は、撮影画像には写りません。

その他の機能

ハイスピードシンクロ

- i40 は 1/8000 までのシャッタースピードに対応するハイスピードシンクロ機能を搭載しています。
- ハイスピードシンクロモードは **A**、**M**、**TTL**、**RMT モード**で使用できます。
- ハイスピードシンクロモードにセットするには、パイロットボタンを長押ししてください。ハイスピードシンクロモード時はモード表示ランプが点滅します。
- 詳しくはカメラの取扱説明書をご参照ください。
- ハイスピードシンクロモードを解除するには、もう一度パイロットボタンを長押ししてください。

スローシンクロ

夜間や低照度の背景で被写体を撮影する場合、適正な露出を得るためにシャッタースピードが遅いスピードに設定された状態でストロボ発光を行う機能です。

SLOW

後膜シンクロ

後幕シンクロに設定すると、シャッターが閉じる直前に発光を行います。スローシャッター使用時、発光しながら移動する被写体を撮影すると、自然な光の軌跡を描くことが出来ます。

REAR

［参考］

◆ストロボの照射角度について
照射角は 24mm 相当から 105mm 相当まで連動します。24mm 相当より広角の焦点距離をご使用の場合は、内蔵ワイドパネル［16mm 相当］をご利用ください。105mm 相当より望遠側の焦点距離をご使用の場合は、105mm 相当の照射角度でカバーできます。
※照射角は便宜上 35mm フィルム用レンズの焦点距離を基準にしています。

◆撮影距離について
ストロボを使用しても撮影画像が暗い場合は、被写体に近づいて撮影するかまたは、カメラの ISO 感度を上げてください。

■主な仕様

使用カメラ	**ソニー製デジタルカメラ**
ガイドナンバー	40［ISO100/m・照射角105mm］ 27［ISO100/m・照射角35mm］
照射角	24mm～105mm以上、オートパワーズームによりレンズ焦点距離に自動で連動 （マニュアルズームも可） ワイドパネル使用時は16mm
電源	単3形電池4本・アルカリ乾電池 ニッケル水素電池対応（別売）
発光間隔	約0.1～4秒
発光回数	約220～1,700 回（アルカリ乾電池使用時）
節電機能	カメラがオフになってから約2分後にスタンバイモード スタンバイモードから30分後に電源OFF 無操作から60分後に電源OFF
過熱防止機能	20～30回連続発光後自動的に電源OFF 約15分後に自動的に解除され使用可能に
LEDライト点灯時間	約3.5時間（アルカリ乾電池使用時）
調光方式	TTL
AF補助光	有効距離 0.7～5m
色温度	5600K
閃光時間	1/800秒～1/20,000秒
ワイヤレス発光	**SD**: デジタルスレーブ（8発光レベル） **SF**: アナログスレーブ（8発光レベル） **RMT**: ワイヤレスTTLリモート（チャンネル共通、M・TTL・TTL2グループ）
大きさ	約85(H) x 61(W) x 85(D)mm
質量	約203g（電池除く）

※製品の仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。

■ガイドナンバーテーブル（ISO 100）

焦点距離	パワーレベル								
	Full	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64	1/128	1/256
24mm	22	16	11	8	6	4	3	2	1
28mm	25	18	13	9	6	4	3	2	2
35mm	27	19	14	10	7	5	3	2	2
50mm	32	23	16	11	8	6	4	3	2
70mm	36	25	18	13	9	6	5	3	2
85mm	38	27	19	13	10	7	5	3	2
105mm	40	28	20	14	10	7	5	4	2

■トラブルシューティング

ストロボがチャージしない。
- 電池の向きを確かめて、逆向きになっている場合は、正しく挿入してください。
- 電池が消耗していないか確認して、消耗している場合は、新しい電池を入れてください。

ストロボが発光しない。
- ストロボがカメラにしっかり固定されてない場合は、奥までしっかり装着してください。
- ホットシュー接点が汚れている場合は、接点を乾いた布で拭いてください。
- オートパワーオフ機能により電源OFFになっている場合は、電源を入れなおしてください。

写真が露出オーバーまたは、アンダーになる。
- 被写体の近くに反射物などがあって、正常に調光されない場合は、FEロック機能を使用してください。
- モードを確認してマニュアルモードになっている場合は、＜TTL＞モードに設定してください。

NISSINは、ニッシンジャパン株式会社の登録商標です。
その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

★最新カメラへのファームウェアアップデート サービス（有償）やファームウェア対応状況に関するお問い合わせは、ニッシンホームページ、または、お問い合わせ窓口をご利用ください。

ホームページ：**www.nissin-japan.com**
TEL. 050-3736-7756